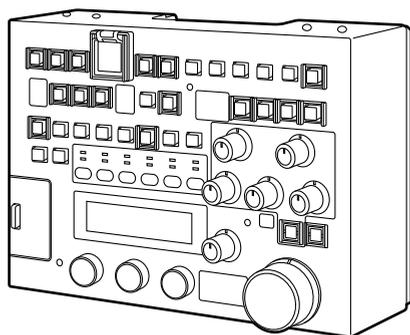


操作ガイド

AG-HPX375 にリモートコントロールユニット
(AJ-RC10G) を接続される場合にご覧ください



リモートコントロールユニットAJ-RC10Gの詳しい取扱い方法は、
AJ-RC10G に付属の取扱説明書をご覧ください。

Panasonic

JAPANESE

目次

接 続	2	メニュー項目	21
システム構成図	2	メニューについて	21
各部の名称と働き	3	BLACK	21
フロントパネル	3	FLARE	22
背面	12	GAMMA	22
基本操作	13	WHITE	22
電源を投入すると	13	KNEE	23
ボタン・ボリュームを有効にする	13	SHUTTER	24
ボタン・ボリュームを無効にする	13	SHAD	24
カメラレコーダーの操作	14	MATRIX	25
本機のボリュームによるカメラの操作	15	DTL	25
シーンファイルの操作	16	SKIN DTL	26
記録操作	17	FUNC	26
SDメモリーカードへのシーンファイルの		SYSTEM	27
保存/読み出し	18		
SDメモリーカードの取り扱い	18		
カードから読み込むには	18		
カードに書き込むには	19		
カードからファイルを削除するには	19		
カードの初期化	19		
メニュー操作	20		
液晶パネルを使った操作	20		
カメラレコーダーメニューの操作	20		
本機の機能調整	20		

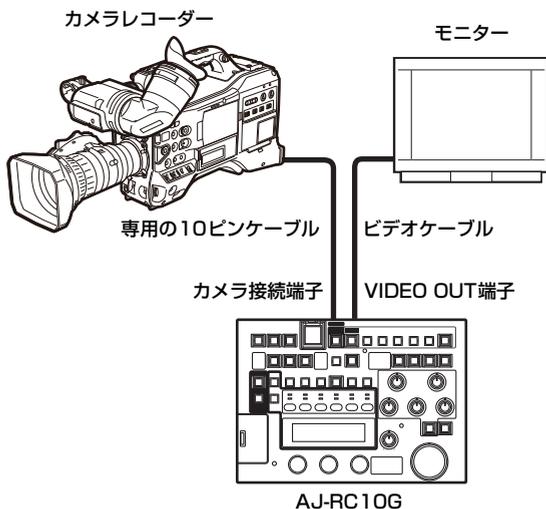
接 続

- 1 カメラレコーダーの電源を切った状態で、カメラレコーダーのRCU 10ピンコネクターと、本機を接続ケーブルで接続します。
- 2 カメラレコーダーの電源投入後、本機の電源を入れてください。

<ノート>

- カメラレコーダーから本機を外した際に、接続中に本機で行ったカメラレコーダーの設定を接続前に戻すか、調整した後の状態にするかは、メニューのFUNC項目での設定で決定されます。
- 接続したケーブルを強く引っ張らないでください。また、カメラレコーダーを移動しながら使用する場合は、ケーブルを三脚やカメラレコーダーのハンドルなどに固定し、コネクター部に直接力が加わらないようにしてください。

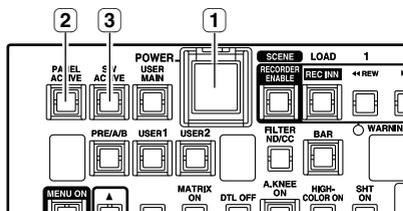
システム構成図



各部の名称と働き

フロントパネル

パネル部



① POWERボタン

本体の主電源のON/OFFスイッチです。

② PANEL ACTIVEボタン

パネル操作の受付を切り替えます。

点灯時：パネル操作を受け付けます。電源をONにするとこの状態になります。

消灯時：POWERボタン、PANEL ACTIVEボタンを除く、本機のボタン等の受付を禁止します。

カメラレコーダーの動作状態を示すボタンの点灯、LED表示はカメラレコーダーの動作状態に従います。

③ SW ACTIVEボタン

ボタン/スイッチ操作の受付を切り替えます。

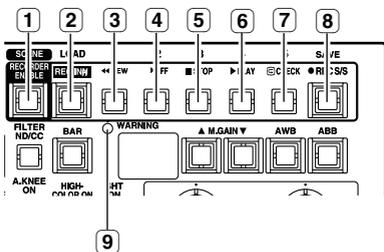
点灯時：ボタン/スイッチ操作の受付を可能にします。

消灯時：POWERボタン、PANEL ACTIVEボタン、SW ACTIVEボタン、VR ACTIVEボタン、AUTO IRISボタン、M.PED ボリューム、IRIS ボリュームを除く、本機のボタン等の受付を禁止します。

カメラレコーダーの動作状態を示すボタンの点灯、LED表示はカメラレコーダーの動作状態に従います。

各部の名称と働き (続き)

カメラレコーダー / シーンファイル操作部



① RECORDER ENABLE ボタン

レコーダーモード/シーンファイルモードを切り替えます。

点灯時：レコーダーモード

ボタン③～⑧は記録部の制御ボタンとして動作します。

消灯時：シーンファイルモード

ボタン③～⑧がシーンファイルの読み出し、保存の制御ボタンとして動作します。電源をONにするとこの状態になります。

② REC.INH/LOAD ボタン

レコーダーモード時：

点灯時、REC S/S ボタン⑧の受付が禁止されます。

ただし本機で記録禁止状態でも、REC機能を割り付けたUSERボタンの操作、およびカメラレコーダーからのRECボタン操作は有効です。

また電源ON時は、このボタンは消灯しています。

シーンファイルモード時：

シーンファイルのLOADスイッチとして動作します。リモコン内のファイルからデータを呼び出します。

③ REW/1 ボタン

レコーダーモード時：

早戻し動作を行います。早戻し中に点灯します。

シーンファイルモード時：

SAVE/LOADするシーンファイルの番号として1を選択します。

④ FF/2 ボタン

レコーダーモード時：

早送り動作を行います。早送り中に点灯します。

シーンファイルモード時：

SAVE/LOADするシーンファイルの番号として2を選択します。

⑤ STOP/3 ボタン

レコーダーモード時：

停止動作を行います。

シーンファイルモード時：

SAVE/LOADするシーンファイルの番号として3を選択します

⑥ PLAY/4 ボタン

レコーダーモード時：

再生動作を行います。

再生中に点灯し、再生中に再度押すと再生/一時停止状態に移行し、点滅表示に変わります。

更にもう一度押すと再生状態に戻り、点灯表示にもどります。

シーンファイルモード時：

SAVE/LOADするシーンファイルの番号として4を選択します

各部の名称と働き (続き)

⑦ CHECK/5 ボタン

レコーダーモード時：

記録確認ボタンです。記録の一時停止中に押すと、記録された内容の確認ができます。

早戻し中に点滅し、再生中に点灯します。

シーンファイルモード時：

SAVE/LOADするシーンファイルの番号として5を選択します。

⑧ REC S / S/SAVE ボタン

レコーダーモード時：

記録のスタート/ストップボタンです。カメラレコーダーのREC STARTボタンと同じ動作で、記録中に点灯します。

シーンファイルモード時：

シーンデータのSAVEボタンとして動作します。

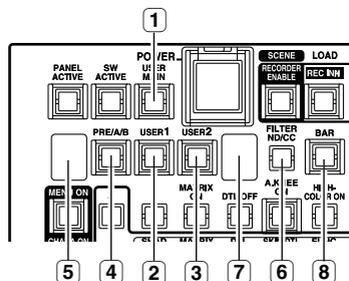
③～⑦のボタンで選択した、リモコン内のファイルに現在のデータを保存します。

⑨ RECORDER WARNINGランプ

カメラレコーダーのWARNINGランプと同じく、カメラレコーダーに異常が発生したとき点滅、または点灯します。くわしくは、カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

各部の名称と働き (続き)

カメラ基本操作部



① USER MAIN ボタン

カメラレコーダーにあるUSER MAINスイッチと同じ機能です。押した時のみ点灯します。

<ノート>

USER MAINボタンに割り付けられる機能は、カメラレコーダーまたは本機からのカメラメニューの操作で選択できます。

② USER1 ボタン

カメラレコーダーにあるUSER1スイッチと同じ機能です。押した時のみ点灯します。

<ノート>

USER1ボタンに割り付けられる機能は、カメラレコーダーまたは本機からのカメラメニューの操作で選択できます。

③ USER2 ボタン

カメラレコーダーにあるTHUMBNAILスイッチと同じ機能です。

AG-HPX375接続時にこのボタンを押すと、ビューファインダー/液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

このとき本機の液晶パネルに「THUMBNAIL OPEN」と表示されMENU ONボタンも同時に点灯します。

④ PRE/A/B ボタン

カメラレコーダーのWHITE BALスイッチと同様に、PRE、A、Bと切り替えが可能です。

押すとPRE→A→B→PREと切り替わります。

電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

⑤ PRE/A/B表示部

カメラレコーダーのWHITE BALスイッチの状態をP/A/bで表示します。

⑥ FILTER ND/CC ボタン

AG-HPX375接続時は機能しません。

⑦ ND表示部

NDフィルター位置を1/2/3/4で表示します。

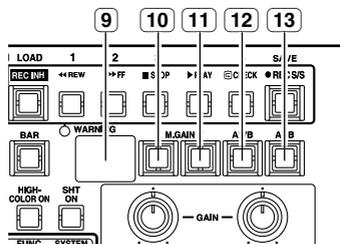
⑧ BAR ON/OFF ボタン

カメラレコーダーの出力を、カラーバー/カメラ信号のいずれかから選択します。カメラレコーダーからの出力がカラーバーの時に点灯し、それ以外で消灯します。

電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

各部の名称と働き (続き)

カメラ基本操作部 (続き)



⑨ GAIN表示部

カメラレコーダーの映像ゲインを表示します。初期値はカメラレコーダーのGAINスイッチがLの時のゲイン値になります。

⑩ M.GAIN▲ボタン

押すとカメラレコーダーの映像ゲインがアップします。
押した時のみ点灯します。

⑪ M.GAIN▼ボタン

押すとカメラレコーダーの映像ゲインがダウンします。
押した時のみ点灯します。

<ノート>

- FUNCのRC-DATA-SAVE項目をONにすると、M.GAINのゲイン値が、カメラレコーダーのGAINスイッチがLのときのゲイン値 (LOW GAIN) としてカメラレコーダーに記憶されます。
- USER SWでのGAIN UPが動作しているときは⑩、⑪のボタンを押してもゲインはアップダウンしません。

⑫ AWBボタン

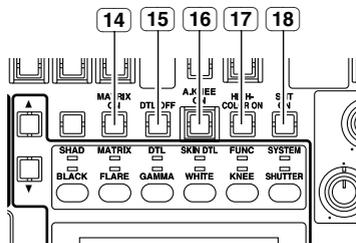
押すとカメラレコーダーがAWB (オートホワイトバランス) を開始します。AWB実行中は点灯し、正規に終了すると消灯します。AWBが不正に終了した場合は、5秒間点滅した後、消灯します。また、PRE/A/BボタンでホワイトバランスがPREに設定されている場合は、AWBボタンを押すごとにプリセットされている色温度 (「3.2K」と「5.6K」) を切り替えることができます。

⑬ ABBボタン

押すとカメラレコーダーがABB (オートブラックバランス) を開始します。ABB実行中は点灯し、正規に終了すると消灯します。ABBが不正に終了した場合は、5秒間点滅した後、消灯します。

各部の名称と働き (続き)

カメラ基本操作部 (続き)



14 MATRIX ONボタン

AG-HPX375接続時は機能しません。

15 DTL OFFボタン

AG-HPX375接続時は機能しません。

16 A.KNEE ONボタン

カメラレコーダーにあるAUTO KNEEスイッチと同じ機能です。

電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

AUTO KNEEスイッチがONのとき点灯し、それ以外で消灯します。

AG-HPX375のメニュー<SW MODE>ページのAUTO KNEE SW項目がONのときは、AUTO KNEE機能のON/OFFがこのボタンで切り替えられます。

またAUTO KNEE SW項目がDRSのときは、このボタンでDRSのON/OFFが切り替えられます。

AUTO KNEE SW項目がOFFのときは、このボタンを押しても機能の切り替えは行われません。

17 HIGH COLOR ONボタン

AG-HPX375接続時は機能しません。

18 SHT ONボタン

シャッター機能のON/OFFを切り替えます。

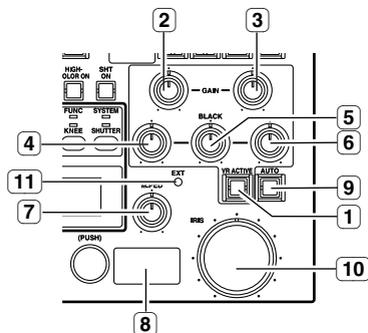
ON時のシャッタースピードは、本機のメニューで選択します。

シャッター機能がONのとき点灯し、それ以外で消灯します。

電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

各部の名称と働き (続き)

ボリューム設定部



① VR ACTIVEボタン

GAINボリューム②～③、BLACKボリューム④～⑥の操作を許可/禁止するボタンです。

電源をONにしたときは、禁止した状態になっています。

操作を許可したとき点灯し、それ以外で消灯します。

② R GAINボリューム

Rchのゲインを調整します。
本機WHITEメニューのGAIN-VR-MODE項目で、相対値/絶対値モードを切り替えます。カード読み込み時、シーンファイル読み込み時には相対値モードになります。B GAINボリュームも同様です。

③ B GAINボリューム

Bchのゲインを調整します。

<ノート>

- WHITE BALスイッチの状態がA/bのときにA/b独立にゲインの調整ができます。
- カメラレコーダーがATW（自動追尾型オートホワイトバランス）で動作している場合は、ゲインの調整は動作しません。

④ R BLACKボリューム

Rchの黒レベルを調整します。（ペダスタル調整のみ）

本機のメニュー BLACK-VR-MODE項目で、相対値/絶対値モードを切り替えます。カード読み込み時、シーンファイル読み込み時には相対値モードになります。

G BLACKボリューム、B BLACKボリュームも同様です。
そのとき、①のVR ACTIVEボタンが点滅します。

⑤ G BLACKボリューム

Gchの黒レベルを調整します。（ペダスタル調整のみ）

⑥ B BLACKボリューム

Bchの黒レベルを調整します。（ペダスタル調整のみ）

⑦ M.PEDボリューム

マスターペダスタルレベルを調整します。調整範囲は、センターが0、最小値が-100、最大値が+100です。

⑧ IRIS表示部

カメラのアイリスを表示します。

⑨ AUTO IRISボタン

オートアイリス機能をONにします。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。
本機がカメラにオートアイリスを指令時に点灯し、それ以外のときに消灯します。

⑩ IRISボリューム

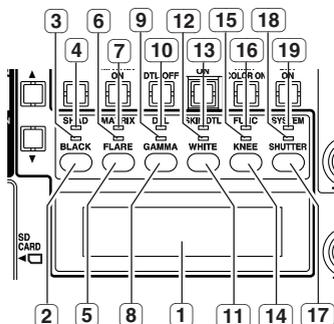
カメラのアイリスを調整します。
AUTO IRISボタン⑨がOFFのとき、右に回すことでアイリスをCLOSE→OPENまで動かせます。

⑪ EXT警告ランプ

レンズエクステンダーが入っているとき、点灯します。

各部の名称と働き (続き)

本機メニュー操作部



① 液晶パネル

本機のメニュー操作ボタン②、⑤、⑧、⑪、⑭、⑰で選択した項目のメニューを表示します。
また、タイムコードを表示することもできます。

② BLACK/SHADボタン

液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、BLACK → SHAD → メニューモードに入る前の状態 → BLACKと切り替わります。

③ BLACKランプ

液晶パネルの大項目にBLACKが選択されたとき点灯します。

④ SHADランプ

液晶パネルの大項目にSHADが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

⑤ FLARE/MATRIXボタン

液晶パネルに表示する大項目を選択します。
押すごとに、FLARE → MATRIX → メニューモードに入る前の状態 → FLAREと切り替わります。

⑥ FLAREランプ

液晶パネルの大項目にFLAREが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

⑦ MATRIXランプ

液晶パネルの大項目にMATRIXが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

⑧ GAMMA/DTLボタン

液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、GAMMA → DTL → メニューモードに入る前の状態 → GAMMAと切り替わります。

⑨ GAMMAランプ

液晶パネルの大項目にGAMMAが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

⑩ DTLランプ

液晶パネルの大項目にDTLが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

⑪ WHITE/SKIN DTLボタン

液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、WHITE → SKIN DTL → メニューモードに入る前の状態 → WHITEと切り替わります。

⑫ WHITEランプ

液晶パネルの大項目にWHITEが選択されたとき点灯します。

⑬ SKIN DTLランプ

液晶パネルの大項目にSKIN DTLが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

各部の名称と働き (続き)

14 KNEE/FUNCボタン

液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、KNEE → FUNC → メニューモードに入る前の状態 → KNEEと切り替わります。

15 KNEEランプ

液晶パネルの大項目にKNEEが選択されたとき点灯します。
(AG-HPX375接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。)

16 FUNCランプ

液晶パネルの大項目にFUNCが選択されたとき点灯します。

17 SHUTTER/SYSTEMボタン

液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、SHUTTER → SYSTEM → メニューモードに入る前の状態 → SHUTTERと切り替わります。

18 SHUTTERランプ

液晶パネルの大項目にSHUTTER項目が選択されたとき点灯します。

19 SYSTEMランプ

液晶パネルの大項目にSYSTEM項目が選択されたとき点灯します。

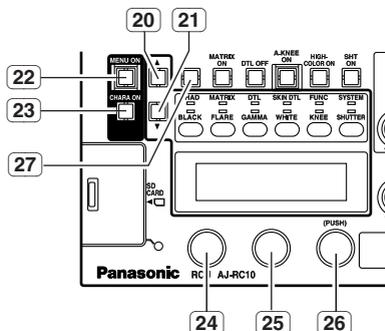
20 ▲ボタン

21 ▼ボタン

液晶パネルの表示切り替えと、本機のメニューの中項目の選択を行います。押されている状態で点灯し、離すと消灯します。

22 MENU ONボタン

3秒間長押しすることでカメラレコーダー側のメニューが開きます。このとき液晶パネルに「CAMERA MENU OPEN」と表示されます。また、このとき点灯し、本機のメニューとシーンファイルの操作は受け付けません。
カメラレコーダーのメニューが開いている状態で押すと、表示されているメニューの階層が1つ戻ります。最上層のメニューを開いている場合はメニューが閉じます。



23 CHARA ONボタン

本機のVIDEO OUT端子およびAG-HPX375本体のVIDEO OUT端子から出力される映像信号に、キャラクタを載せるかどうかを選択します。
AG-HPX375のメニュー<OUTPUT SEL>ページのVIDEO OUT CHAR項目の設定は無効となります。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。
キャラクタを載せる場合は点灯し、載せない場合は消灯します。

24 ロータリーエンコーダー 1

25 ロータリーエンコーダー 2

26 ロータリーエンコーダー 3

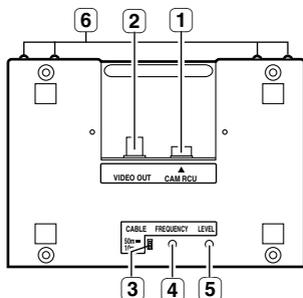
液晶パネルによるメニュー操作や、カメラメニューの操作に使用します。カメラメニューの操作は、右側のロータリーエンコーダーで行います。ロータリーエンコーダーの操作はカメラ側のJOGスイッチと同じ(+、-、PUSH)です。

27 空きボタン

機能の割り付けられていない空きボタンです。

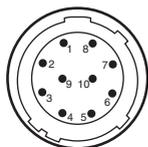
各部の名称と働き (続き)

背面



① カメラ接続端子

10ピンカメラコントロールケーブルを接続します。



ピン No.	信号内容
1	CAM DATA (H)
2	CAM DATA (C)
3	CAM CONT (H)
4	CAM CONT (C)
5	ECU_ON
6	Video入力
7	GND (Video)
8	予備
9	+12 V (IN)
10	GND

② VIDEO OUT端子

カメラレコーダー本体のメニュー操作用に、NTSC、またはPALのモニターを接続します。

③ ケーブル長さ切換スイッチ

50mケーブルを使用する場合にONにします。

④ 周波数特性調整ボリューム

VIDEO信号の周波数特性を調整するのに使用します。

⑤ レベル調整ボリューム

VIDEO信号のレベルを調整します。

⑥ 目隠しビス

この4本のビスは、外した状態でも本機の使用は可能ですが、外した状態のまま長時間、放置しないでください。また、ビスを使用していないときは必ず保管してください。

<ノート>

背面の4本のビスは、外さないでください。

基本操作

電源を投入すると

POWERボタンを押すと、PANEL ACTIVEボタンが点灯し、カメラレコーダーの設定状態が本機に読み込まれます。

PRE/A/B表示部、ND表示部、GAIN表示部、IRIS表示部には、それぞれの数値が表示され、液晶パネルにはR GAIN、B GAINが表示されます。この時は、本機からPANEL ACTIVEボタン、SW ACTIVEボタン、VR ACTIVEボタン、AUTO IRISボタン、M.PEDポリリュームとIRISポリリュームのみ操作可能で、他のボタン・ポリリューム操作はできません。

ただし、A.KNEE ONボタン、SHT ONボタン、AUTO IRISボタン、BAR ON/OFFボタンとCHARA ONボタンの設定、およびシャッターの設定値は、本機の前回の設定状態になります。

ボタン・ポリリュームを有効にする

SW ACTIVEボタンを押し、点灯させるとボタンの操作が可能になります。

1) カメラ部の操作

SW ACTIVEボタンを押すと、USER MAINボタンやGAINの操作や本機の内蔵メモリーへのシーンファイルの保存や読み出しなどのカメラレコーダーの操作を行えます。

SW ACTIVEボタンを再度押すと、消灯してボタンの操作は禁止されますが、それまでに設定した状態は保持されます。

2) 記録部の操作

RECORDER ENABLEボタンが消灯時、記録部の操作はできません。RECORDER ENABLEボタンを押し点灯させてから、PLAYやFF、REWの操作を行います。記録を行うには、REC S/Sボタンで操作してください。

3) 液晶パネルでの数値の表示

電源投入時、GAINポリリュームの値が表示されます。

ボタン操作が可能な状態であれば、▲ボタンと▼ボタンで、表示される数値をGAINポリリューム → BLACKポリリューム → M/PEDの数値 → TCと切り替えることができます。ポリリューム操作が有効であるとき、GAINまたはBLACKポリリュームを操作したときは、強制的にそのポリリューム値が表示されます。ただし、ロータリーエンコーダー3を押すことにより、GAINまたはBLACKポリリュームを操作する前の表示に切り替えることができます。

<ノート>

本機メニュー操作時、およびカメラメニュー操作時は、表示の切り替えはできません。

また、ポリリュームの操作を行ってもポリリューム値は表示されません。

ボタン・ポリリュームを無効にする

PANEL ACTIVEボタンを押して消灯させると、パネル上のボタンとポリリュームによる操作が禁止されます。

また、VR ACTIVEボタンを押して消灯させると、GAINとBLACKのポリリュームによる設定が禁止されます。設定後にその状態を保持させたい場合にご利用ください。ただし、禁止している間にポリリュームを動かした場合、PANEL ACTIVEボタンやVR ACTIVEボタンを再度押して点灯させた瞬間に、ポリリュームの値が反映されますのでご注意ください。

<ノート>

GAINとBLACKは本機メニューのポリリュームモードを相対値 (REL) に設定し、禁止期間のポリリューム位置変化の影響を避けることができます。

基本操作 (続き)

カメラレコーダーの操作

1) 表示連動スイッチの操作

PRE/A/B表示部を確認しながら、PRE/A/Bボタンでホワイトバランスの設定を選択します。

カメラレコーダーのフィルターの状態が、ND表示部に表示されます。

ゲインの変更は、M.GAIN▲ボタンと

M.GAIN▼ボタンの2ボタンで、GAIN表示部を確認しながら行います。

2) USERスイッチの操作

USER MAIN/USER1 ボタンは、カメラレコーダーのUSERスイッチと同じ働きをします。USERスイッチの機能の割り当ては、カメラメニュー内のUSER-SW項目で確認・設定ができます。

3) ABB/AWB/BARスイッチ操作

ABBボタン、AWBボタンはカメラレコーダーのホワイトバランス・ブラックバランスのスイッチと同じ働きをし、それぞれの機能の実行中に点灯します。

BARボタンはカメラ出力をカラーバーに切り替えます。カメラ出力がカラーバーを出力中に点灯します。

4) その他のスイッチの操作

A.KNEE ONボタンとSHT ONボタンは押すごとにON/OFFが切り替わり、それぞれONの時にボタンが点灯します。

基本操作 (続き)

本機のボリュームによるカメラの操作

PANEL ACTIVE ボタンが点灯しているとき、M.PEDボリュームとIRISボリュームの操作をすることが出来ます。

AUTO IRIS ボタン点灯時には、IRISボリュームはオートアイリスの目標値設定ボリュームとして動作します。

VR ACTIVE ボタンが点灯しているとき、GAINボリューム、BLACKボリュームの操作をすることが出来ます。

本機メニューで、GAINボリューム、BLACKボリュームの動作を絶対値モードで行うか、相対値モードで行うかを選択することができます。

<ノート>

- 相対値モードは、ボリューム操作を有効にした時点では値は変わらず、有効にした時点でのボリュームの回転位置から、ボリュームを回転した量だけ値が変わるモードです。
絶対値モードは、ボリューム操作を有効にした時点で、ボリューム回転位置に従って値が決まるモードで、センタークリックでは0です。
- ボリュームの可変範囲は以下のように選択できます。

ボリュームの可変範囲

	MIN	NORMAL	MAX
GAIN	±50	±100	-128 ~ +127
BLACK	±25	±50	±100

* AG-HPX375の可変範囲は-128~+127です。

1) GAINボリューム

PRE/A/Bボタンでのホワイトバランス設定を変更後と、オートホワイトバランス(AWB)の実行後には、VR ACTIVE ボタンが消灯し、ボリューム操作が無効になります。

AWB実行時、GAIN設定値が0になります。相対値モード、絶対値モードを切り替えた場合、VR ACTIVE ボタンが消灯し、ボリューム操作が無効になります。(GAIN値は変わりません)

<ノート>

AWBが不正に終了した場合、GAIN設定値は0に戻りません。

2) BLACKボリューム

ペダスタル (PED) の調整ボリュームとして動作します。

ただし、本機メニューのBLACK-VR-CONTROL項目でフレア (FLR) を選択した場合は動作しません。

オートブラックバランス (ABB) を実行するとVR ACTIVE ボタンが消灯し、ボリュームは無効になります。

ABB 実行時の VR ACTIVE ボタンの変化

VR 設定	BLACK-VR-CONTROL	PEDESTAL OFFSET	
		OFF	ON
REL (相対値)	PED	消灯 (無効)	消灯 (無効)
	FLR	状態保持	状態保持
ABS (絶対値)	PED	消灯 (無効)	消灯 (無効)
	FLR	状態保持	状態保持

ABB 実行時のボリューム設定値の変化

VR 設定	BLACK-VR-CONTROL	PEDESTAL OFFSET	
		OFF	ON
REL (相対値)	PED	0 にクリア	保持
	FLR	保持	保持
ABS (絶対値)	PED	0 にクリア	保持
	FLR	保持	保持

* AG-HPX375接続時、 部分の設定は機能しません。

また、本機メニュー BLACK-VR-CONTROL項目を変更した場合もVR ACTIVE ボタンが消灯し、ボリュームは無効になります。

3) M.PEDボリューム

ボリューム操作を有効にした時点で、ボリュームの位置に従い、値が決まる絶対値モードで動作します。センタークリックで0になります。

可変量はセンターが0、最小値が-100、最大値が+100です。

基本操作 (続き)

シーンファイルの操作

本機はシーンファイルが5つあり、現在の設定をシーンファイルとして保存したり、保存してある設定を読み出ししたりすることができます。

またSDメモリーカードでも、シーンファイルの保存/呼び出しが可能です。くわしくは「SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し」(18ページ)を参照してください。

1) シーンファイルの操作

RECORDER ENABLEボタン消灯時、本機の上段の右7個のボタンスイッチで操作します。

保存： 1～5 (青文字) ボタンで保存するファイル番号を選択します。押すと選択されたボタンが点滅します。この状態でSAVE (青文字) ボタンを押すと、SAVEボタンも点滅します。保存する場合はもう一度SAVEボタンを押します。保存が完了すると保存したファイル番号のボタンが点灯します。

1～5ボタンが点滅状態のとき、点滅したボタンをもう一度押すか、10秒以上放置すると選択が解除されます。

読み出し： 1～5 (青文字) ボタンで読み出すファイル番号を選択します。押すと選択されたボタンが点滅します。この状態でLOADボタンを押すと選択されたファイルが読み出されます。この時VR ACTVボタンが点滅し、本機メニューで設定しているボリュームの動作モードは無視され、相対値モードになります。

<ノート>

- ボリューム動作モードの設定が絶対値のまま、シーンファイルを読み出した後、VR ACTIVE ボタンを操作した場合、設定値がその時のボリュームの角度で決まる値になり、読み出した値は失われます。シーンファイルで読み出した値からボリューム操作をしたい場合は、VR ACTIVE ボタンが点滅のまま操作するか、VR ACTIVE ボタンを操作する前に、WHITEとBLACKのボリュームの動作を相対値モードに変更してください。
- シーンファイルの保存/呼び出しを行うと、保存/呼び出しを行ったファイル番号のボタンと、LOADボタンが点灯します。消灯するにはLOADボタンを押してください。また、SDメモリーカードからシーンファイルを読み出したり、カメラメニューを開くとファイル番号ボタン、LOADボタンのいずれも消灯します。
- カメラメニューを開いた状態のとき、シーンファイルの操作はできません。

2) シーンファイルに保存される項目

「メニュー項目」を参照してください。「保存」の項目が○になっているものが保存されます。SDメモリーカードへの保存も同じなので、特定の本機に保存したシーンファイルを他の本機に使用する場合は、そのファイルを読み出した後、SDメモリーカードに保存して他の本機で読み出して本機のシーンファイルに保存してください。

<ノート>

シーンファイルの保存中は、電源をOFFにしないでください。保存したシーンファイルのデータが破損する恐れがあります。

基本操作 (続き)

<参考>

以下の方法で、本機のシーンファイル設定を、カメラレコーダーの工場出荷時の状態に揃えることができます。

ただし、本機で設定できない項目の設定は揃えることができません。

- 1 カメラレコーダーの設定を工場出荷時の設定にします。くわしくは、カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
- 2 本機をカメラレコーダーに接続します。本機の設定は、カメラレコーダーから読み込まれます。
- 3 本機SYSTEMメニューのRCU-FACTRYを実行します。
- 4 本機の設定を、本機のシーンファイル1～5、またはSDメモリーカードに保存します。

記録操作

RECORDER ENABLE ボタンを押し、レコーダーモードにすると、カメラレコーダーの記録部の操作が可能になります。

この時、REC INH ボタンが点灯しているとき、本機のREC S/S ボタンは受付が禁止された状態になっています。記録を開始、または停止をするにはREC INH ボタンを押し、消灯させてから、REC S/S ボタンで記録の開始と停止を行ってください。

<ノート>

- REC INH ボタン点灯中はREC S/S ボタンの操作受付を禁止しています。
- 記録部を操作中に、RECORDER ENABLE ボタンを押し、消灯させると、記録部の状態は消灯前の状態が保持され、本機に内蔵されたシーンファイルの操作を行うことができます。
- 本機での調整値をカメラレコーダーに残すかどうかは、本機FUNCメニューのRC-DATA-SAVEで設定可能です。

SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し

本機の設定を8個までSDメモリーカードに保存することが出来ます。

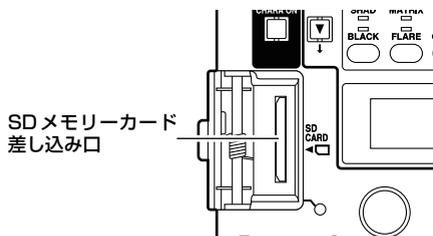
カードの読み書き中はパネルの操作は受付禁止状態になります。本機のSDメモリーカードの差し込み口にSDメモリーカードを差し、本機メニューで操作を行います。

<ノート>

- 本機では8 MB以上のSDメモリーカードを使用してください。使用できる最大容量のSDメモリーカードは、2 GBです。
- SDメモリーカードは、必ず本機でフォーマットを行ってください。

SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードの抜き差しは、差し込む方向に注意してください。



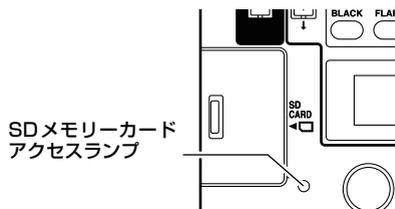
また、最初にSDメモリーカードを使うときは、本機メニューの SYSTEM から「CARD CONFIG」を行ってください。

<ノート>

SDメモリーカードにデータを保存、またはSDメモリーカードからデータを読み込んでいる間は、SDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカード内のデータが破損する恐れがあります。

カードから読み込むには

- 1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択すると、液晶パネルに「CARD-RD」表示と、その下に数値が表示され、横にタイトルが表示されます。
- 2 ロータリーエンコーダー 1 で数値を変えて読み出したいファイルを選択します。対象ファイルが無い場合、液晶パネルに「NO FILE」と表示されます。
- 3 ロータリーエンコーダー3を押します。液晶パネルに「READ NO?」と表示されるので、ロータリーエンコーダー3を回して「YES?」を選択し、再度ロータリーエンコーダー 3 を押すことで読み出しを開始します。
- 4 読み出しが開始され、液晶パネルに「ACTIVE」と表示されます。読み込み中はSDメモリーカードアクセスランプが点灯します。



- 5 読み出しが終了すると、SDメモリーカードアクセスランプが消灯し、液晶パネルに「OK」と表示されます。

<ノート>

読み出しが出来なかった場合、液晶パネルに「READ NG」と表示されます。もう一度、読み込みをやり直してください。再度読み込みに失敗した場合は、新しいSDメモリーカードと交換してください。

SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し (続き)

カードに書き込むには

- 1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択し、▼ボタンで2階層目のメニューを表示します。
- 2 液晶パネルに「CARD-WR」とその表示の下にファイルNo.が表示されますので、ロータリーエンコーダー 1を回し、書き込むファイルを選択します。
<ノート>
すでにファイルが記録されている場合はTITLE表示の下にタイトルが表示されますので、誤って上書きしないように注意してください。
- 3 液晶パネルにタイトル入力用のカーソルが表示されるので、ロータリーエンコーダー 3を回し文字を選択し、ロータリーエンコーダー 2を回転しカーソルを移動させます。文字数は最大8文字で、8文字まで入力すると、最後の文字は点滅のままになります。

4 ロータリーエンコーダー 3を押すと、液晶パネルに「NO?」と表示されます。ロータリーエンコーダーを回して「YES?」を選択して、再度ロータリーエンコーダー 3を押すことで書き込みを開始します。

5 書き込みが開始されると、SDメモリーカードアクセスランプが点灯し、液晶パネルに「ACTIVE」と表示されます。

6 書き込みが終了すると、SDメモリーカードアクセスランプが消灯し、液晶パネルに「OK」と表示されます。

カードからファイルを削除するには

- 1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択し、▼ボタンで3階層目のメニューを表示します。
- 2 液晶パネルに「CARD-DEL」と、その表示の下にファイルNo.が表示されますので、ロータリーエンコーダー 1を回し、削除するファイルを選択します。
- 3 ロータリーエンコーダー 3を押すと、液晶パネルに「NO?」が表示されます。ロータリーエンコーダー 3を回して「YES?」を選択して、再度ロータリーエンコーダー 3を押すことで削除を開始します。
- 4 削除が開始されると、SDメモリーカードアクセスランプが点灯し、液晶パネルに「ACTIVE」と表示されます。
- 5 削除を終了すると、SDメモリーカードアクセスランプが消灯し、液晶パネルに「OK」と表示されます。

カードの初期化

- 1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択し、▼ボタンで4階層目のメニューを表示します。
液晶パネルに「EXEC」と表示されます。
- 2 ロータリーエンコーダー 3を押すと、液晶パネルに「NO?」が表示されます。ロータリーエンコーダー 3を回して「YES?」を選択して、再度ロータリーエンコーダー 3を押すことで初期化が開始されます。

以下は「カードからファイルを削除するには」の4、5と同様です。

メニュー操作

液晶パネルを使った操作

液晶パネルにメニューを表示して、ロータリーエンコーダー（1～3）でメニューの調整ができます。

1 BLACK/SHADボタン、FLARE/MATRIXボタン、GAMMA/DTLボタン、WHITE/SKIN DTLボタン、KNEE/FUNCボタン、SHUTTER/SYSTEMボタンの内、いずれかを押し、メニューの大項目を選択します。

2 ボタンを押すと、パネル下に書かれた項目 → パネル上に書かれた項目 → メニューモードに入る前の状態 → パネル下に書かれた項目、と切り替わります。
選ばれた大項目を表すLEDが点灯し、液晶パネルには選ばれた大項目のメニューの1階層目が表示されます。

3 メニューの階層を▼ボタンか▲ボタンで移動します。（ループはしません）

4 メニューの小項目の値をロータリーエンコーダーで調整します。
階層によって、1～3個の小項目が液晶パネルに表示されます。
（階層によってはロータリーエンコーダー3を押す必要がある場合があります）

5 カメラメニューを開いた場合、本機液晶パネルのメニューは閉じられ、代わりに「CAMERA MENU OPEN」と表示されます。

カメラレコーダーメニューの操作

本機を使って、モニターを見ながらカメラレコーダーのメニュー設定が行えます。

本機メニューに含まれない項目を設定する際にご使用ください。

1 本機のVIDEO OUT端子と、モニターを接続します。

2 MENU ONボタンを3秒以上押します。
モニターにカメラレコーダーのメニューが表示されます。

<ノート>

CHARA ONボタンが消灯中は、モニターにメニューは表示されません。

3 ロータリーエンコーダー3をカメラレコーダー本体のJOGダイヤルと同様に操作して、メニュー操作を行います。
ロータリーエンコーダーを反時計方向に回すと数値が増加し、時計方向に回すと減少します。

<ノート>

メニュー項目・設定方法など、くわしくはカメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

本機の機能調整

本機のボタンを押したときの応答音、液晶パネル・ボタンの点灯時の明るさなどを、本機のメニューで調整することができます。くわしくは「SYSTEM」（27ページ）を参照してください。

メニュー項目

メニューについて

本機のメニュー項目は、接続したカメラレコーダーによって、変わる場合があります。

また、以下のメニュー項目には、カメラレコーダーとは別に、本機のみで工場出荷値が設定されています。

- ◆ 「BLACK」の BLACK-VR-CONTROL、BLACK-VR-MODE、BLACK-VR-RANGE 項目
- ◆ 「WHITE」の GAIN-VR-MODE、GAIN-VR-RANGE 項目
- ◆ 「SYSTEM」の BUZZER、LCD CONTRAST、SW BRIGHT 項目
- ◆ 「SHUTTER」の MODE、SPED 項目

メニュー表の「保存」に○がついている項目は、シーンファイルとして本機、またはSDメモリーカードに設定を保存することができます。くわしくは「シーンファイルの操作」(16ページ)、および「SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し」(18ページ)を参照してください。

<ノート>

AG-HPX375との接続時には、メニュー項目内の 部分の設定は機能しません。

BLACK

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RPED	-128 : +127	Rch のペDESTALを 設定します。	○
	GPED	-128 : +127	Gch のペDESTALを 設定します。	○
	BPED	-128 : +127	Bch のペDESTALを 設定します。	○
2	BLACK-VR-CONTROL	FLR PED	BLACK ボリュームで 調整する項目を選択 します。 FLR: FLARE PED: PEDESTAL (AG-HPX375 接続時 は、FLRは動作しま せん。)	○
3	BLACK-VR-MODE	ABS REL	RGB の BLACK ボ リュームを絶対値で動 かすか、相対値で動か すかを切り替えます。 ABS: 絶対値 REL: 相対値	○
4	BLACK-VR-RANGE	MIN NORM MAX	RGB の BLACK ボ リュームの可変範囲を 切り替えます。 MIN: ±25 NORM: ±50 MAX: ±100	○

<ノート>

BLACK-VR-MODE が REL の場合、BLACK/SHAD ボタンを押して BLACK ランプを点灯させると、ロータリーエンコーダーを回して各 Ch のペDESTALが調整できます。

_____ は工場出荷モードです。

メニュー項目 (続き)

FLARE

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RFLAR	-100 : +100	Rch のフレアを設定 します。	○
	GFLAR	-100 : +100	Gch のフレアのを設 定します。	○
	BFLAR	-100 : +100	Bch のフレアを設定 します。	○
2	FLAR- CORRECT	ON OFF	フレア補正の ON/ OFF の選択を行いま す。	○

GAMMA

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RGAM	-15 : +15	Rch のガンマを設定 します。	○
	MGAM	0.30 : 0.75	マスターガンマを設定 します。	○
	BGAM	-15 : +15	Bch のガンマを設定 します。	○
2	GAMMA- MODE-SEL	HD SD F-LIKE1 F-LIKE2 F-LIKE3	ガンマの選択を行いま す。	○
3	GAMMA- CORRECT	ON OFF	ガンマ補正の ON/ OFF の選択を行いま す。	○

WHITE

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RGAIN	-128 : +127	Rch のゲインを設定 します。	○
	BGAIN	-128 : +127	Bch のゲインを設定 します。	○
2	FILTER-INH	ON OFF	各フィルターごとに AWB メモリー (Ach, Bch) のデータ を持つか持たないかの 選択をします。 ON: フィルターに無 関係に 2 メモ リー (Ach, Bch) で持ちま す。 OFF: 各フィルターご とに持ちます。	○
3	SKLS-AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	ショックレス AWB が ON (FAST/ NORMAL/SLOW1/ SLOW2/SLOW3) 時 の選択を行います。	○
	AWBAREA	25% 50% 90%	AWB 検出エリアの切 り替えを行います。	○
4	GAIN-VR- MODE	ABS REL	R、B の GAIN ポ リュームを絶対値で動 かすか、相対値で動か すかを切り替えます。 ABS: 絶対値 REL: 相対値	○
5	GAIN-VR- RANGE	MIN NORM MAX	R、B の GAIN ポ リュームの可変範囲を 切り替えます。 ただし、AG-HPX375 の可変範囲は -128 ~ +127 です。 MIN: ±50 NORM: ±100 MAX: -128 ~ +127	○
6	COLR- TEMP-PRE	2300k : 8000k	AWB PRE での色温 度を設定します。	×

<ノート>

GAIN-VR-MODE が REL の場合、WHITE/SKIN
DTL ボタンを押して WHITE ランプを点灯させると、
ロータリーエンコーダーを回して RGAIN および
BGAIN が調整できます。

_____ は工場出荷モードです。

メニュー項目 (続き)

WHITE (続き)

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
7	AWB-A	MEM	WHITE BAL スイッチの位置と、Achの割り当てを設定します。 MEM: AWB 実行時のメモリー値を割り当てます。	○
	TEMP-A	2300k : 8000k	WHITE BAL スイッチの位置と、Achの時の色温度を設定します。ステップはカメラの状態に変化します。	×
8	AWB-A-GAIN-OFST	ON	ON: AWB を実行しても AWB-A の GAIN OFFSET 設定値はリセットされません。 OFF: AWB を実行すると AWB-A の GAIN OFFSET 設定値はリセットされます。	○
		OFF		
9	AWB-B	MEM	WHITE BAL スイッチの位置と、Bchの割り当てを設定します。 MEM: AWB 実行時のメモリー値を割り当てます。	○
	TEMP-B	2300k : 8000k	WHITE BAL スイッチの位置と、Bchの時の色温度を設定します。ステップはカメラの状態に変化します。	×
10	AWB-B-GAIN-OFST	ON	ON: AWB を実行しても AWB-B の GAIN OFFSET 設定値はリセットされません。 OFF: AWB を実行すると AWB-B の GAIN OFFSET 設定値はリセットされます。	○
		OFF		

KNEE

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	M-KNEE	ON	AUTO KNEE スイッチが OFF 時のモードを設定します。 ON: MANUAL KNEE OFF: KNEE OFF	○
		OFF		
2	MKNPNT	70.0% : 107.0%	MANUAL KNEE POINT の位置設定を 0.5%ステップで行います。	○
	MKNSLP	00 : 99	MANUAL KNEE の傾きを設定します。	○
3	WCLIP	ON OFF	WHITE CLIP 機能の ON/OFF を選択します。	○
	WCLIPLVL	90% : 109%	WHITE CLIP LEVEL を設定します。	
4	AKNP	80% : 107%	AUTO KNEE POINT の位置設定を 1%ステップで行います。	○
	AKLV	100 : 109	AUTO KNEE LEVEL を設定します。	
	AKRESP	1 : 8	AUTO KNEE 応答速度を設定します。	

メニュー項目 (続き)

SHUTTER

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	MODE	FIX S.S	SHUTTER ON 時のシャッター設定を、固定モードにするかシンクロスキャンモードにするか選択します。 FIX: 固定シャッター S.S: シンクロスキャン	○
	SPED	選択可能なシャッター速度については、AG-HPX375の取扱説明書を参照してください。	シャッター速度を選択します。 モードにより選択速度種類（固定シャッター用、シンクロスキャン用）が変わります。	○
	ACTION	ON OFF	シャッターの状態を表示します。(表示のみ)	×

<ノート>

- ここで設定したシャッター設定のMODEと固定シャッター選択時のシャッター速度は本機内に記憶されます。
- シンクロスキャン時のシャッター速度は本機には記憶されません。FUNCのRC-DATA-SAVE項目をONにすると、シンクロスキャン時のシャッター速度はカメラレコーダー本体に記憶されます。
- シャッター設定を固定モードにしたとき、AG-HPX375では小数点を含むシャッター速度が選択できますが、本機のSPED表示には小数点以下は表示されません。

_____は工場出荷モードです。

SHAD

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	B-SHD	ON OFF	ブラックシェーディングのON/OFFを選択します。	○
	DETECT	EXEC	オートブラックシェーディング調整を起動します。	×
2	W-SHD	ON OFF	ホワイトシェーディングのON/OFFを選択します。	○
3	HSAW (W-R)	-255 : +255	R-H-SAW ホワイトシェーディングの調整を行います。 NORMとEXTENDERごとに値を持ちます。	○
	HPAR (W-R)	-255 : +255	R-H-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	○
4	VSAW (W-R)	-255 : +255	R-V-SAW ホワイトシェーディングの調整を行います。	○
	VPAR (W-R)	-255 : +255	R-V-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	○
5	HSAW (W-G)	-255 : +255	G-H-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	HPAR (W-G)	-255 : +255	G-H-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	○
6	VSAW (W-G)	-255 : +255	G-V-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	VPAR (W-G)	-255 : +255	G-V-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	○
7	HSAW (W-B)	-255 : +255	B-H-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	HPAR (W-B)	-255 : +255	B-H-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	○
8	VSAW (W-B)	-255 : +255	B-V-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	VPAR (W-B)	-255 : +255	B-V-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	○

メニュー項目 (続き)

MATRIX

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	TABL	A B	マトリックス ON 時、および本機で設定するマトリックス色補正のテーブルを選択します。	○
	C-CORCT	ON OFF	12 軸色補正の ON/OFF を選択します。	
2	R-G	-63 : +63	R-G のマトリックス色を調整します。 TABL A/B で切り替わります。	○
	R-B	-63 : +63	R-B のマトリックス色を調整します。	
3	G-R	-63 : +63	G-R のマトリックス色を調整します。	○
	G-B	-63 : +63	G-B のマトリックス色を調整します。	
4	B-R	-63 : +63	B-R のマトリックス色を調整します。	○
	B-G	-63 : +63	B-G のマトリックス色を調整します。	
5	C-COR	R R-Mg Mg Mg-B B B-Cy Cy Cy-G G G-YI YI YI-R	12 軸色補正で調整する色補正軸を選択します。	○
	SATU	-63 : +63	C-COR で選択された色補正軸の飽和度を調整します。	
	PHASE	-63 : +63	C-COR で選択された色補正軸の色相を調整します。	

DTL

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	MDTL	-31 : +31	マスターディテール (H および V) のレベル設定をします。	○
	HDTL	0 : 63	H.DTL LEVEL を設定します。	
	VDTL	0 : 31	V.DTL LEVEL を設定します。	
2	CORG	OFF 0 : 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定します。	○
	FREQ	0 : 31	H.DTL FREQ を設定します。	
	LDP	0 : 5	LEVEL DEPEND を設定します。	
3	K-AP	OFF 0 : 5	輝度が高い部分のディテールを設定します。	○
	+GAIN	-31 : +31	H.DTL の + 方向のレベルを設定します。	
	-GAIN	-31 : +31	H.DTL の - (下) 方向のレベルを設定します。	
4	CLIP	0 : 63	DTL 信号の + 方向のクリップを設定します。	○
	SOURCE	R+G G+B 2G+R+B 3G+R R G	DTL 信号成分の信号源を設定します。	

メニュー項目 (続き)

SKIN DTL

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	S DTL	OFF A B AB	スキントーンディテールを有効にする肌色テーブルを選択します。 OFF: 肌色 DTL の OFF を選択します。 A: テーブル A で設定した SKINTONE 設定で DTL をつけます。 B: テーブル B で設定した SKINTONE 設定で DTL をつけます。 AB: テーブル A および B で設定した SKINTONE 設定で DTL をつけます。	○
	OUTPUT	MONI VIDEO	SKINZEBRA を付加する出力を選択します。	
	SZEB	ON OFF	OUTPUT で選択した出力に対する SKIN ZEBRA の ON/OFF を選択します。 DETECT で設定されたテーブルの色に ZEBRA が付きます。	
2	TABL	A B	本機で調整する SKIN TONE のテーブルを選択します。	○
3	SCORG	0 : 7	SKIN TONE DTL コアリングの効果を設定します。	○
4	YMAX	0 : 255	SKIN TONE を効かせる輝度信号最大値を設定します。	○
	YMIN	0 : 255	SKIN TONE を効かせる輝度信号最小値を設定します。	

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
5	ICENT	0 : 255	I 軸上の中心位置の設定 (SKIN TONE を効かせるエリアの設定) を行います。	○
	IWIDTH	0 : 255	I CENT を中心とした I 軸上の SKIN TONE を効かせるエリア幅を設定します。	
6	QWIDTH	0 : 90	Q CENT を中心とした Q 軸上の SKIN TONE を効かせるエリア幅を設定します。	○
	QPHASE	-180 : +179	Q 軸を基準とした SKIN TONE を効かせるエリアの位相を設定します。	
7	SKIN-GET	EXEC	SKIN TONE DTL のターゲットになる色相を取得する時に使用します。	×

FUNC

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	IRISLVL	0 : 100	オートアイリスの目標値を設定します。	○
	PEAK/AVE	0 : 100	オートアイリスの基準に対するピークの占める割合を決定します。	
2	IRIS-WINDOW	NORM1 NORM2 CENTER	オートアイリス検出ウインドウを選択します。 NORM1: 画面中央寄り NORM2: 画面下寄り CENTR: 画面中央のスポット状。	○
3	IRISGAIN	CAM LENS	アイリスゲインの調整を、カメラレコーダー側で行うか、レンズ側で行うかを選択します。	○
	GAINVAL	1 : 20	カメラレコーダー側での IRIS GAIN 調整値を設定します。	

メニュー項目 (続き)

FUNC (続き)

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
4	USER-SW	USW-M USW-1 USW-2	機能を変更したい USER スイッチを選 択します。	○
	SELECT	INH S.GAIN DS.GAIN LINE MIX S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW PRE REC DRS	USER-SW 項目で選 択した USER ボタ ンに割り当てる機能を選 択します。 <ノート> 本機とカメラレコー ダーを接続時、I.OVR 機能は無効になってい ます。	
5	BLK- GAMMA	-3 -2 -1 OFF 1 2 3	暗部のガンマカーブを 設定します。	○
6	RC-DATA- SAVE	ON OFF	本機を外したときに、 本機での調整値をカメ ラレコーダー本体に残 すかどうかを選択しま す。 OFF にすると、本機 を外したときカメラレ コーダーの設定は、本 機接続前の状態に戻 ります。 ON にすると、以下の 調整値がカメラレコー ダー本体に残ります。 ● LOW GAIN (7 ページ) ● M.PED ボリューム (9 ページ) ● RPED/GPED/BPED (21 ページ) ● RGAIN (22 ページ) ● BGAIN (22 ページ) ● MODE (24 ページ) ● SPED (24 ページ)	○

<ノート>

- R GAIN、B GAIN、RPED、GPED、BPED の設定値は本機の
みで確認できます。
- AWB/ABB を動作させるとそれぞれの値は 0 に戻ります。
- MODE、SPED の設定値は、カメラレコーダー本体の
シャッターポジションに置き換えられます。

SYSTEM

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	CARD- READ	1 : 8	読み出すファイルの番 号を選択します	×
	TITLE	***** **	読み出すファイルの データにつけられてい るタイトルを読み出 し、表示します。	
2	CARD- WRITE	1 : 8	書き込むファイルの番 号を選択します。	×
	TITLE	***** **	書き込むファイルの データにつけるタイト ルを入力します。	
3	CARD- DELETE	1 : 8	削除するファイルの番 号を選択します。	×
	TITLE	***** **	削除するファイルの データにつける読み出 し、表示します。	
4	CARD- CONFIG		カードをコンフィグし ます。	×
5	BUZZER	ON OFF	点灯するスイッチを押 した時にブザーを鳴ら すか否かを選択しま す。	×
6	LCD CONTRAST	0 : 10 : 15	液晶パネルのコントラ ストを調整します。	×
7	SW BRIGHT	0 : 10 : 15	点灯するスイッチの明 るさを調節します。	×
8	RCU- FACTRY		本機のボリューム可変 範囲などを、工場出荷 設定に戻します。	×
9	VERSION		本機のソフトウェアの バージョンを表示しま す。	×

— は工場出荷モードです。